

令和5年度 江戸川区立南葛西第三小学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

学校教育目標	生きる力を養う ○確かな学力 ○豊かな心 ○健やかな体	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○みんなの個性が輝く学校 ○自分がされてうれしいことができる子供 ○共に高め合い、共感(共汗)し合う教員
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ○組織的な学校運営の充実 ○多様性尊重の取組の充実 <課題> ○学力向上 ○教員の授業力向上 ○働き方改革の実践的取組		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・「課題解決型の授業展開」を目指した授業改善の推進 ・学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得と家庭学習習慣定着に向けた取組の実施・充実	・児童の思いや気付きを生かした課題解決的な学習展開を各教科で実践する。 ・補修教室を年35回実施、外部委託による放課後学習教室を年間30回実施する。 ・東京ベーシック・ドリルの活用と検証	・児童意識調査の学習に関する項目での数値向上 ・東京ベーシック・ドリルの学年平均正答率70%以上						
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・探究的な学習年間指導計画の策定および並行読書の充実 ・読書科についての校内OJT研修会及び外部講師による研修会の実施 ・学校応援団と連携した学校図書館環境の整備	・図書館を使った調べる学習コンクールへの参加者の増加 ・児童意識調査の読書(探究的な学習を含む)に関する項目で数値向上						
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・運動意欲の向上に向けた取組の実施・充実	・チャレンジタイムの年間35回実施 ・持久走記録会および長縄大会の実施	・児童意識調査の運動に関する項目での数値向上						
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・SCも生活指導夕会に参加し、継続的に情報共有を行う。また、校内研修会を年1回実施する。 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の開催 ・個別対応ができるエンカレッジルームの計画的運用 ・副籍交流および共同学習の設定	・教員アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査で学習に関する項目の数値向上						
	<インクルーシブ教育の推進> ・特別支援教室やことばの教室との連携による指導の充実	・教員向け研修の年2回実施 ・児童の理解を深めるための取組を年2回実施	・児童意識調査で人権に関する項目の数値向上 ・保護者アンケートで肯定的評価8割以上						
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	・年間3回(6, 12, 2月)の人権週間及びいじめ防止啓発デー(毎学期)の設定といじめ防止をテーマとした授業(年3回)実施 ・SCとの連携や生活アンケート(6, 12, 2月)の実施による児童の変容を ・hyper-QUの結果分析に基づき指導と改善	・児童意識調査で差別に関する項目の数値向上 ・保護者アンケートで公的評価8割以上						
	(多様性の尊重) ・個々の違いを尊重し、差別を許さない指導の徹底および多様性を尊重する教育活動の充実	・福祉を柱とした総合的な学習の時間の充実と地域団体等による出前授業の実施	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上 ・児童意識調査の差別に関する項目で数値向上						
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	・ホームページの学校日記を毎日更新し、学習活動や児童の活動状況を積極的に公開 ・年4回の学校公開では、参観に制限を設けず実施	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上						
	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学校評価及び保護者アンケートを年2回(7月・12月)実施し、分析・改善・ホームページ公表	・学校評議員会及び保護者アンケートで13項目肯定的評価の数値向上						
特色ある教育の展開	(小中連携教育の推進) ・小中連携教育構想および児童生徒間交流の充実	・教員間の交流会を年1回実施 ・部活動体験や中学校教員による出前授業の実施、小中必読書百選の取組	・児童意識調査の中学校進学に関する項目で肯定的評価9割以上						
	(SDGs教育の推進) ・地域の歴史や特色を生かした海洋教育、環境教育の推進	・大学教授やNGO団体メンバー、地域人材等を講師とした授業を実施	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上						